

## &lt;その他、取組に特徴のある事例&gt;

## ○作業受委託と学生との交流による集落の維持発展

## 1. 集落協定の概要

|                |                                              |               |        |           |
|----------------|----------------------------------------------|---------------|--------|-----------|
| 市町村・協定名        | 岩手県 <sup>いちのせきし</sup> 一関市 <sup>じきょう</sup> 自鏡 |               |        |           |
| 協定面積<br>48.3ha | 田（99%）                                       | 畑             | 草地（1%） | 採草放牧地     |
|                | 水稻、飼料作物                                      |               | 牧草     |           |
| 交付金額<br>771万円  | 個人配分                                         |               |        | 50%       |
|                | 共同取組活動<br>（49%）                              | 水路、農道等の維持・管理費 |        | 16%       |
|                |                                              | 共同利用機械購入費     |        | 13%       |
|                |                                              | その他           |        | 20%       |
| 協定参加者          | 農業者28人、非農業者2人、農作業受委託組織（構成員28人）               |               |        | 開始：平成12年度 |

## 2. 取組に至る経緯

自鏡集落は、一関市南西部、自鏡山のふもとの山間部に位置し、水稻と飼料作物、繁殖牛（和牛）を中心とした複合経営の多い地域である。

集落で将来像を話し合った結果、高齢化や担い手不足が予想されたことから、作業受委託や集落営農に取り組もうと 12 年度に協定を締結して共同活動に取り組むとともに、古くから地域の信仰の中心であった神社があり、低地ブナ林を有する自鏡山の保護活動を行っている。

## 3. 取組の内容

協定参加者全員が加入する農作業受委託組織「白カタクリ」を担い手として位置付け、交付金で購入した農業機械を利用して、協定農用地内の農作業の受託を進めている。作業受託は集落内に限定することで、移動コストを含めた受託料金を安く抑えた結果、22 年度末時点で約 23ha（協定農用地の 48%）を受託するに至った。

また、「集落を維持するため、集落外から人を呼び込むきっかけにしたい」との思いから、長年に渡り自鏡山のブナ林に調査に来ていた東北学院大学の教授に働きかけ、21 年から大学生との交流を始めた。学生達は何度も集落を訪れ、田植えや稲刈りなどの農業体験、自鏡山の水場清掃やごみ拾い等の環境保全活動、集落内を散策し地域資源を発掘する活動などを行いながら、集落住民と交流している。



【農作業受委託組織「白カタクリ」の作業】



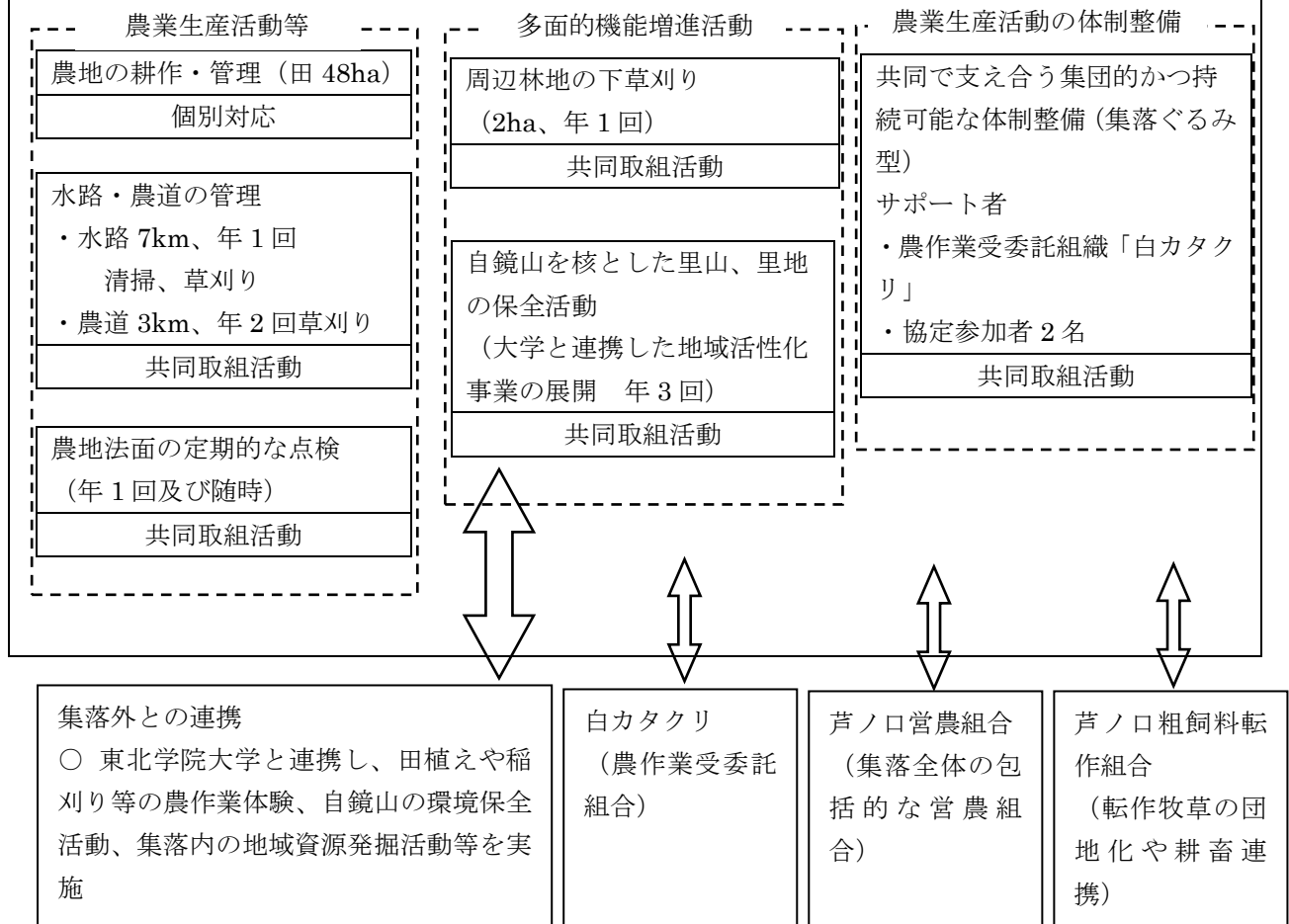
【大学生と田植え体験を通じた交流】

#### 〔集落の将来像〕

- 使えるお金の残る農業を目指して、個別経営と一体になり、農作業受委託組織への集積を進める。

#### 〔将来像を実現するための活動目標〕

- 環境保全型営農のため耕畜連携を進め、併せて畜産振興のための活動を実施する（水田放牧）。
- 一集落一営農組織に向けての合意形成を図り、農作業受委託組織への集積を推進する。



#### 4. 今後の課題等

高齢のため営農を継続できない農家が増えていくことが予想されるため、さらに集落営農の取り組みを発展させ、基幹作物である水稻、加工用米、飼料作物を中心とした作付団地化など農業経営の省力化と耕畜連携を進め、将来的には法人経営に向けた取り組みを強化していきたい。

また、自鏡山を始めとした自然環境の保護や、良好な農村環境の保全、情報発信を通じながら、大学等との交流を拡大し、農村集落の維持発展を図りたい。

#### 〔第 2 期対策の主な成果〕

- 東北学院大学と連携し、田植えや稲刈り等の農作業体験、自鏡山の環境保全活動、集落内の地域資源発掘活動等を実施（H21実績：6回 延べ30人参加）
- 担い手への集積化（H17:0ha、H21実績：22ha）